

社会と関わりながら生きていく力の育成

できる力を活用する！

新潟県立小出特別支援学校

# 教育課程説明

*The Curriculum*

# 知的障害児の学習の特長

- 教科別は学習内容が断片的になりやすく、応用が困難
- 具体的な生活場面を通して、総合的に学習することが効果的



## 教科等を合わせた指導

遊び、日常生活の指導、  
生活単元学習、作業学習

総合

自立活動

<学校教育法施行規則 第130条>



# 教科等を合わせた指導の代表例



## • 日常生活の指導

- ・日常的に繰り返される生活習慣や動作
- ・朝の会、着替え、排泄、食事、歯磨き 等

## • 遊びの指導

- ・発達が未分化な場合、遊びそのものを指導
- ・自由遊び、課題遊び 等



## • 生活単元学習

- ・生活課題やテーマを基に関連する学習を総合的に学ぶ
- ・行事単元、季節単元、生活課題 等

## • 作業学習

- ・作業的な活動を通して、各教科等の内容を学習する
- ・紙工、木工、陶芸、畑作・・・(数量、名称、報告、販売など)



# これまでの指導の課題

## 【教科等を合わせた指導は・・・】



- 指導した内容の整理、評価、履歴が分かりにくく、系統性が見えない。
- 同じことの繰り返しが多くなりがち。
- イベント単元が多く、将来の生活自立に対応しているか。
- 現代社会に対応した職業教育になっているか。
- 指導方法がよく理解されていないのではないか。

など・・・



# 教育課程 再編の観点



## • 育成すべき人材像

- 一人暮らしを目指す生活力
- 働く力を育てる職業教育
- 社会と関わる文化教養

## • 指導すべき内容の明確化

- 何を教えれば何ができるか、指導内容の明確化

## • 指導と評価の一体化

- 指導内容に対して、何がどこまでできたかを明確にする評価

## • 時代に対応した職業教育

- 産業構造や社会の人材ニーズに対応した学習内容



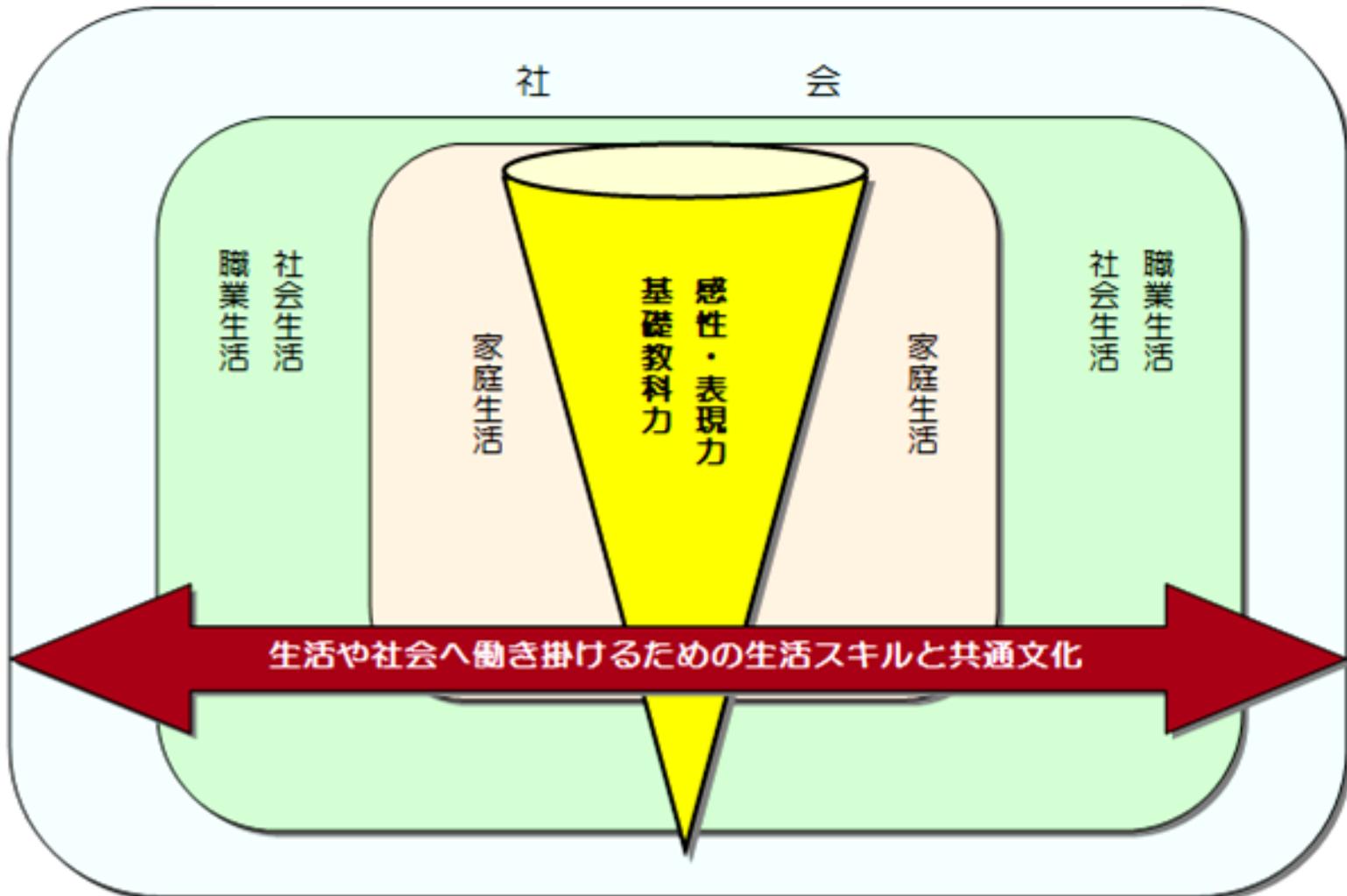
# Koide Curriculum

## 指導しやすく・学びやすい 教育課程の再編成

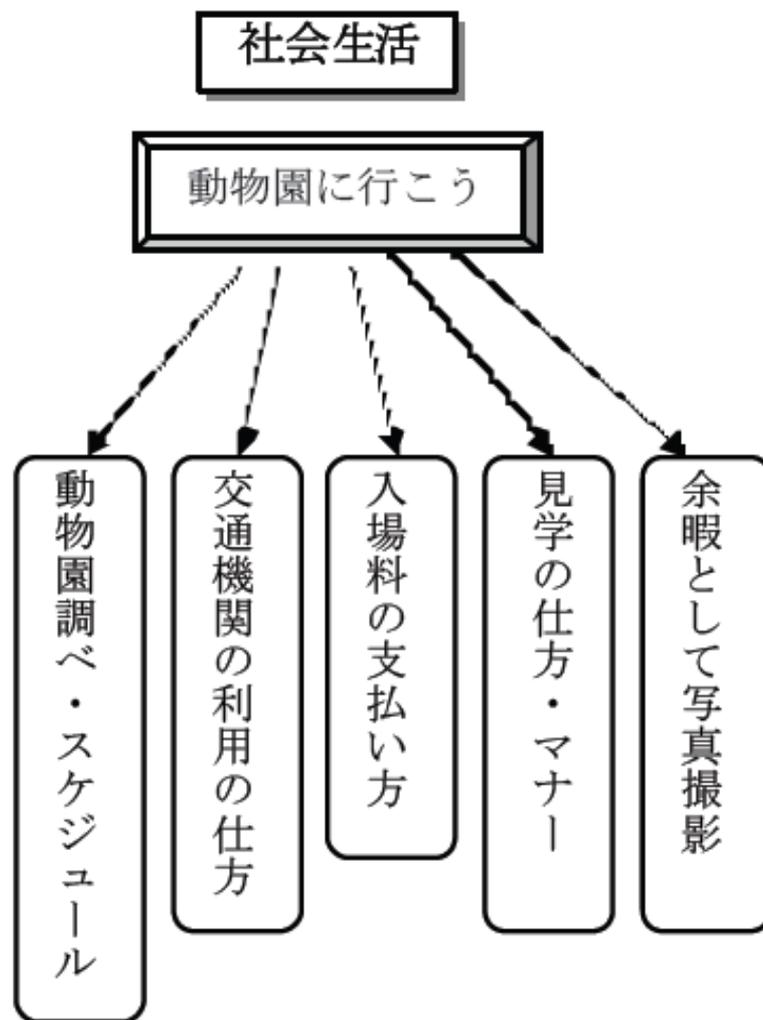
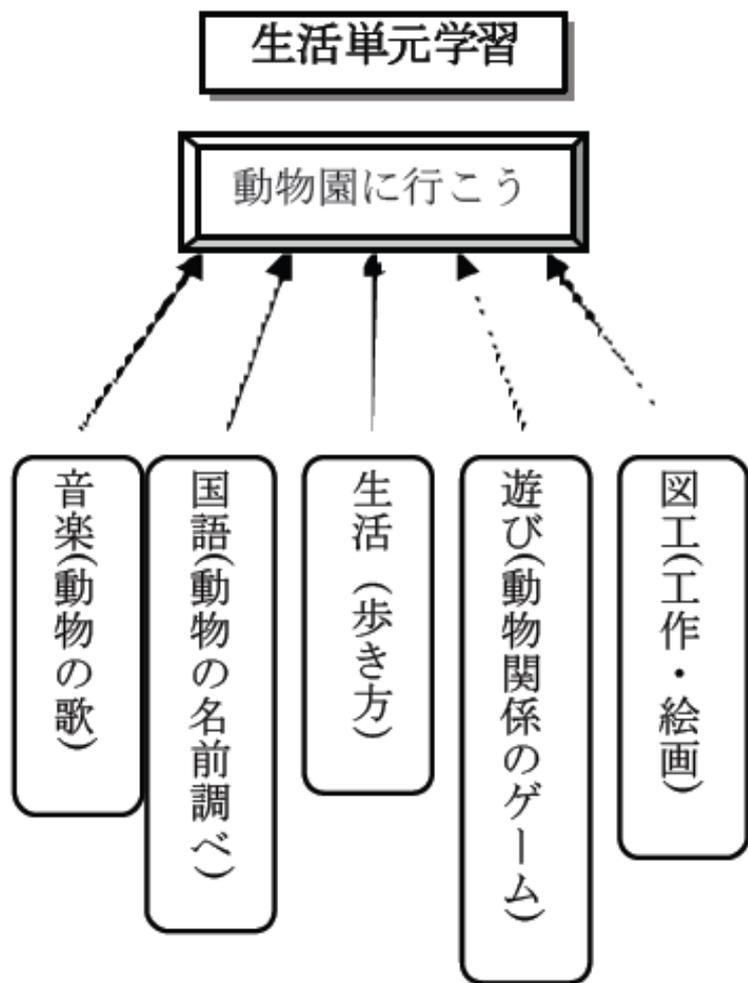
これまでの指導形態	分野	新しい指導形態
<ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活の指導</li><li>・遊びの指導(小)</li><li>・生活単元学習</li></ul>	生活	<ul style="list-style-type: none"><li>・具体的な生活場面に分けて具体的に整理</li><li>・系統性を図るため全学部共通</li></ul> <p>「家庭生活」 「社会生活」</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・作業学習</li></ul>	職業	<ul style="list-style-type: none"><li>・(中) 仕事のやりがい、仕事の全体像の理解</li><li>・(高) 職業生活に必要な知識、各職種の技能アップ</li></ul> <p>(中) 「職業基礎」</p> <p>(高) 「職業生活」 「職業技能」</p>
<ul style="list-style-type: none"><li>・国語</li><li>・算数数学</li><li>・体育</li><li>・音楽</li><li>・図工美術</li></ul>	一般教養	<ul style="list-style-type: none"><li>・感性、表現力の育成</li><li>・生活に必要な基礎的学力と共通文化の育成</li></ul> <p>「国語」 「算数数学」 「音楽」</p> <p>「図工美術」 「体育」</p>

# 教育課程の関係図

「社会と関わりながら生きていく力の育成！」



# 新旧 指導形態の比較



# 生活する力を育てる (家庭生活)



## 家庭生活

- 身辺処理 (着替え, 排泄, 食事, 衛生, 健康 等)
- 家事 (掃除, 洗濯, 調理)
- 家庭内余暇 (ゲーム, 趣味 等)
- その他  
(金銭管理, スケジュール, 電話, 性指導、結婚生活 等)



## 指導特長

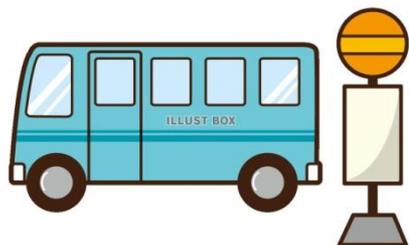
- ① スキルアップとスキルの広がり
- ② 分業でなく、一人完結型
- ③ 一人で動けるための必要性和環境設定
- ④ デイリーカリキュラムと単元設定の組合せ
- ⑤ 保護者ニーズと家庭への移行

# 生活する力を育てる (社会生活)



## 社会生活

- 手伝い・仕事(小)
- 金銭・買物
- 公共施設等の利用
- 交通機関の利用
- 決まり・マナー
- 社会余暇 (集団遊び, 集会, 娯楽施設 等)
- その他  
(金融, 交通安全, 選挙, 男女交際 等)



## 指導特長

- ① 関わりをとおしてスキルの活用を図る
- ② スキルは、シミュレーション⇒ 現場学習  
⇒ 改善シミュレーションのサイクル
- ③ 関わりをスムーズにする関係性  
(自分のレベルを上げる、相手のレベルを上げる)
- ④ 地域資源の活用・開拓

# 働く力を育てる (職業基礎)



職業基礎中

- 働く意欲、職業への関心
- 生産、流通、消費まで全体の流れを体験し、自分の仕事の意味を理解する。  
※ カレーライスができるまで・・・
- 製造業、サービス業、農業等の各分野を体験する。



指導特長

- ① イメージがもてる身近な業種から
- ② 生産動機：注文受け、インタビュー等
- ③ 評価は、お客さんから受ける
- ④ 作業スキルは技能検定等で評価

# 働く力を育てる (職業技能)



## 職業技能(高)

### ○ 各職業種に応じた技能

※ 清掃、喫茶サービス、介護、流通・販売、製造、農園芸 等

- ・業務手順の理解
- ・業務用具の操作
- ・業務態度
- ・各種資格

など



## 指導特長

- ① 外部専門家等から専門的指導
- ② 技能習得状況は検定等で評価
- ③ 修得した技能を活用する場を設定  
(自分たちだけで、校外演習 等)

# 働く力を育てる (職業生活)



職業生活  
(高)

○ビジネスマナーとして必要な知識や態度

- ・挨拶、言葉遣い、電話の応対、
- ・服装、身だしなみ、
- ・面接の受け方
- ・通勤時の緊急連絡
- ・休憩時間の過ごし方
- ・書類の渡し方、名刺交換、依頼の仕方、断り方
- ・職場での人との付き合い方 など

指導特長

- ① イメージもてるよう、イラスト、動画、ロールプレイなどのシミュレーション活動
- ② 判断力を付けるため考えさせる設定授業
- ③ ポイントを示したテキストで振り返り など

# 国語・算数(数学)



## ○ 教科の指導分野

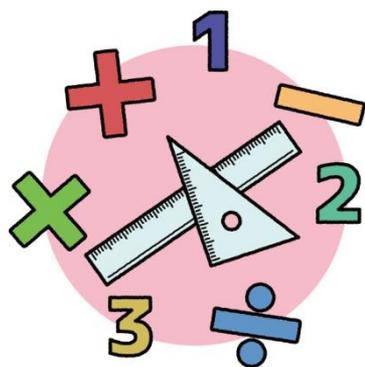
(国) 書く、読む、聞く、話す (言語活動)

(数) 数と計算、量と測定、図形、数量関係

## ○ 生活に使われる内容

・新聞、雑誌、手紙、メール、電話 など

・金銭、時計、図表 など



- ① 興味・関心のあるものや生活に関連する内容
- ② 共通教材、教科書教材の活用
- ③ 系統教材は、理解段階を把握し指導
- ④ 力ある者は漢字検定などに挑戦
- ⑤ 教科書指導も大切

# 音楽・美術・体育



## ○ 各教科の指導領域

(音) 歌唱、器楽、鑑賞、創作

(美) 表現(絵、立体、工作、デザイン、彫刻、工芸)、鑑賞

(体) 体づくり、器械、陸上、水泳、球技、ダンス、武道、保健

① 感性、感覚を育てる指導

② 内容を絞り計画的に指導

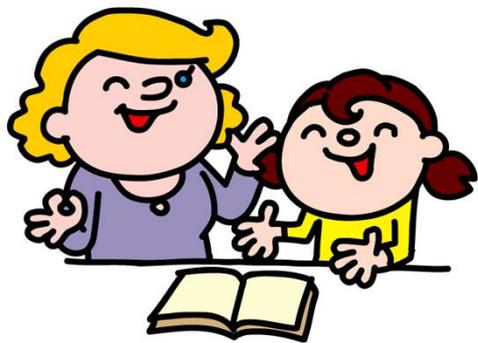
③ 生活活用、共同学習に有効な教材

④ 鑑賞を重視 (イメージ作り、ボディイメージ等)

⑤ 表現領域の総合単元 (オペラ、映画作成、劇等)



# 自立活動



## 《自立活動の内容》

### ○6区分27項目

- I 健康の保持
- II 心理的な安定
- III 人間関係の形成
- IV 環境の把握
- V 身体の動き
- VI コミュニケーション



- ①「時間による指導」と「配慮による指導」
- ② 知的障害は、言語、運動、情緒、行動等に顕著な遅れがあり、学习上又は生活上困難な状態が見られる場合対象となる。
- ③ 評価は、「～の課題があり」「～に取り組み」「～となった」の論法で評価する。

# 授業計画「シラバス」



- **どんな授業なのかを示す！**

- ・ 何を目指すか
- ・ 何を教えるか
- ・ どう評価するか

授業計画書による年間授業の設計

- **複数年の内容のバランス設計**
- **指導の履歴としてのシラバス**
- **公開性**





# 教育課程イメージ図

より学びやすく より身に付く力を！

家庭生活

社会生活

自立活動

が生活する力  
が身に付く



仕事する  
力が育つ

職業基礎

職業技能

職業生活

社会と関わる文化を学ぶ

国語

算数数学

音楽

図工美術

体育

総合学習